

## 第2学年 技術・家庭科学習指導案

盛岡市立見前中学校 教諭 藤村 智子

題材名 家族と家庭生活 ～商品の選択と購入～（開隆堂 家庭分野）

題材について

### 1 教材観

この題材は、学習指導要領の（４）家庭生活と消費についての（ア）販売方法の特徴や消費者保護について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができることを受け設定している。「１ 商品の選択と購入」の題材は、「選ぶときの条件」「さまざまな販売方法と支払い方法」「トラブルの解決」ので構成されている。「選ぶときの条件」については、商品を選択し、購入するときどのようなことを考えて、判断しているか、自分の消費行動に関心をもつとともに、商品（物資・サービス）の選択方法について考えさせていく。「さまざまな販売方法と支払い方法」については商品の（物資・サービス）の販売方法について知り、その販売方法の特徴を理解するとともに、契約の意味と支払い方法を理解する。「トラブルの解決」については、消費者の権利を知り、責任ある消費行動がとれるようにするとともに、トラブルの種類やその原因を知り、解決する糸口がわかるようにする。

これらのことによって、家庭生活における消費の重要性に気づかせ、販売方法の特徴や消費者保護に関する学習を通して、物資やサービスの適切な選択、購入及び活用などができるようにするとともに、環境に配慮した消費生活が工夫できるようにすることをねらいとしている。

また、単なる買い物についての学習にとどまらず、自分や家族の生活の仕方や消費の在り方を改めることも含めている。そのため、消費者としての自覚を育てていくのに適した題材だと考える。

この題材を通して、家庭生活と消費について考えを深め豊かな家庭生活への実践の手がかりとすることで、よりよい生活を主体的に工夫できる能力や態度を養っていくものである。

### 2 生徒観

校区内には大型ショッピングセンターが点在し、気軽に買い物に行きやすい環境にある。そのため消費行動の経験は豊富にある生徒が多い。生徒の消費の中心は、食品や部活動の道具などである。衣料品や電化製品等の高価な物の購入については、家族とともに出かけ選択する生徒が多い。また、通信販売を利用した経験のある生徒も学級に3分の1程度いる。しかし、その商品選択の規準は見た目やCMなどが中心であるため買い物に伴う失敗経験のある生徒も多い。

素直で前向きに学習に参加しようとする生徒が多い。作業学習にも意欲的に取り組み作品の完成を目指して時間いっぱい積極的に作業を進めている。プリントの記述では自

分の考えをきちんとまとめることができるが、自分の考えを話すという点についてはやや消極的な面がある。しかし、グループでの活動や話し合いにおいては積極的に意見を言える生徒も少なくない。

### 3 指導観

指導にあたっては、情報化の進展に伴う消費生活の変化にも対応し、生徒の身近な事例を取り上げて具体的に考えさせ、興味・関心をもたせるように工夫する。また、家庭生活は様々な物資・サービスを選択・購入し活用することによって成り立っており、販売方法が多様化している現在、中学生に関わりの深い事例を取り上げて、具体的に考えさせるようにする。選択・購入にあたっては、本当に必要かどうかの判断が大切であることに気づくようにし、多くの情報の中から適切な情報を収集・整理し、選択できるようにする。販売方法については、店舗販売と無店舗販売の特徴を知らせ、特に、問題の生じやすい無店舗販売に重点をおいて指導する。支払いについては、現金やプリペイドカードによる二者間の契約を中心に上げ、即時払い・前払い・後払いのそれぞれの特徴について理解できるようにする。消費者保護については、消費者の基本的な権利を知らせるとともに、消費者保護基本法の趣旨を理解させる。

生徒がより実生活との関連を意識した学習とするために、事前調査を実施し、題材構成を工夫するとともに、各学習内容における各自の考えを事前に書かせておき、学習のまとめの振り返りで活用する。このことにより学習への動機付けを図るとともに、自分の生活と照らした学習の価値付けができると思う。

学習の雰囲気のとらげと生活体験に基づいたつばやきを出しやすくするためにロールプレイングを用いたり、また、グループ学習を活用したりする。このことにより、お互いの意見を聞き自らの意見を話せる場を作ること意識して設定する。

#### 題材の目標

##### 【生活や技術への関心・意欲・態度】

- ・ 自分の家庭生活や消費の在り方について振り返り、身近な販売方法の特徴と問題点に関心をもとうとする。
- ・ 情報を収集・整理し、物資・サービスを適切に選択、購入、活用しようとする。

##### 【生活を工夫し創造する能力】

- ・ 消費生活の問題点を見つけ、収集・整理した情報を活用して消費生活をよりよくする方法について考え、工夫する。
- ・ 物資の選択・購入・活用・廃棄について、家庭生活における課題を見つけ、その解決方法を目指して工夫する。

##### 【生活の技能】

- ・ 具体的な物資やサービスの事例について情報を収集・整理し、適切な選択、購入および活用ができる。

【生活や技術についての知識・理解】

- ・ 中学生にかかわりの深い販売方法の利点と問題点について理解する。
- ・ 物資の選択・購入・活用・廃棄に関する基礎的な知識を身に付けている。

題材の指導計画と評価規準

題材「1 商品の選択と購入」

時	指導内容	関心・意欲・態度	工夫・創造	技能	知識・理解
1	商品の選択について考える。	物品の選択・購入に必要な様々な課題について考えようとする。			
2	様々な販売方法と支払い方法について知る。	身近な販売方法の特徴と問題点に関心をもとうとする。			中学生にかかわりの深い販売方法の利点と問題点について理解する。

本時の指導

1 目標

商品を選択・購入する場合に必要な様々な課題について、自分なりの考えをもつことができる。

2 本時の評価の観点と具体的評価規準

観点	評価規準	具体的評価規準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	Cと判断される生徒への支援
関心 意欲 態度	物品の選択・購入に必要な様々な課題について考えようとする。	多くの情報の中から、正しい商品選択ができるようになるためにはどのような知識が必要になるのか具体的に考え、意見を発表している。	消費行動の中でどのようなことに注意しているのか、自分の生活と関連づけながら意見をまとめている。	机間指導の際に、個別により助言を行う。判断の参考となる教科書の内容等を示し補説を加える。

3 指導の構想

課題把握の場面はこれまでの消費活動の失敗経験を発表させることにより、問題意識をもたせ課題把握につなげる。

課題追究の場面では、初めにロールプレイングを用いてよくある買い物のワンシーンを再現する。そして、この続きの場面についてプリントに沿って考える中から衣服の購入のポイントとなることを考えていく。そのうえで、グループごとに様々な商品を例に商品選択のポイントをまとめていく。グループでの話し合いを取り入れることで個人の思考からグループの思考に発展させ、これまでには考えなかった商品選択のポイントに気づくことにより、これまでよりもよりよい商品選択ができるようにさせたいと考える。

課題解決の場面では、自分の今までの消費行動を思い起こし、今後の商品の選択購入にどのように活かしていけばよいのかをまとめさせていく。

#### 4 展 開

過程	学習の流れと学習活動 ( 主要発問 )	指導上の留意点	準備・備考 ( 評価 )
課題把握 5分	1 生活経験を想起し、課題を把握する。 <b>「これまでの買い物で失敗をした経験はありませんか。」</b> ・これまでの買い物の経験から失敗例を発表し合うことで、課題への意識を高める。	・事前に商品選びのポイントについての自分の考えを学習プリントに記述させておく。 ・生徒の買い物の経験を想起させることにより、本時学習内容への動機付けを図る。	
学習課題 商品選びのポイントを考えよう。			
課題追究	2 商品選びのポイントについて考える。 <b>「今からよくある買い物のワンシーンを再現します。よく見てください。」</b> <b>「この場合どうしたらよいでしょうか。」</b> ・生徒によるロールプレイングを見て、商品を購入するか判断し、その理由を各自プリントに記入する。 ・商品選びの各自の意見を出し合う。	・生徒2名による買い物場面のロールプレイングを行い、買い物場面と状況を理解させ、商品選びについての課題を把握させる。 ・商品選びについての自分の考えを、各自の経験から判断させる。	学習プリントの活用  1 理由をもって自分の考えがきめられるか。

<p>課題追究</p>	<p>「衣服を購入するときに考えなければならないことをまとめよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品（衣服）を購入するときに考えなければならないことを話し合う。</li> </ul> <p>「衣服以外の商品についてはどうだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品（衣服以外）を購入するときの選択のポイントについて考える。</li> </ul> <p>（商品例） CDデッキ・スニーカー・シャンプー・菓子パン・スポーツバック・自転車</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班毎に担当した商品について購入するときの選択のポイントを考える。</li> </ul> <p>4 身の回りの様々な商品を購入するときの選択のポイントについて整理する。</p> <p>5 商品の情報収集について考える。</p> <p>「これらの商品についてどうやって情報を得るのですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の得方について各自の経験を話し合う。</li> </ul> <p>（情報例） TV・雑誌・ネット・表示・マーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表示等からも情報を得ることができることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習形態をグループ学習に変え、班毎に商品を選ぶポイントを話し合わせる。</li> <li>各班の商品選択のポイントを発表し、様々な商品の見方・留意点について話し合いで明らかにする。</li> <li>商品選びのポイントについて整理する。（嗜好、機能、品質、手入れ、価格、等）</li> <li>失敗のない商品の購入をするように計画性をもって商品を選ぶための情報収集の方法について考えさせる。</li> </ul>	<p>2</p> <p>商品（衣服以外）の購入のポイントが考えられるか。 （商品カード、学習カード）</p> <p>3</p> <p>商品の情報収集の方法について考えられるか。</p>
<p>課題解決</p>	<p>6 本時学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの自分の消費行動を振り返る。</li> <li>商品を購入のときのよりよい選択について自分の考えをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習プリントに事前調査の実態と比較しながら本時のまとめをする。</li> <li>よりよい消費生活について気づかせていく。</li> </ul>	<p>学習プリント</p>